

令和4年度 第5回牧区地域協議会 次第

日時：令和4年7月12日（火）
午後6時30分から
会場：牧区総合事務所301会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

- (1) 日帰り・宿泊温浴施設の今後の方向性の検討について（行政改革推進課）

・・・・・・・・資料No.1

4 自主的審議事項

- (1) 地域活動支援事業各団体との意見交換会の報告について（協議）

・・・・・・・・資料No.2

- (2) あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について（グループ討議）

5 その他（連絡事項）

- ・高田地区地域協議会からの意見書提出について
- ・4区地域協議会委員合同研修の記録について
- ・令和4年度地区懇談会の開催について

6 閉 会

- ・次回（第6回牧区地域協議会） 月 日（ ） 時 分～

日帰り・宿泊温浴施設の今後の方向性の検討について

1 公の施設の適正配置の必要性

＜第4次公の施設の適正配置計画で整理した市を取り巻く現状と課題＞

- ・ 人口減少と少子高齢化、それに伴う税収の減少が懸念される。
- ・ 多くの施設の老朽化に伴う維持管理経費と更新・修繕費用の増加が見込まれる。
- ・ 合併前の各市町村で進めた施設整備により多くの類似施設を保有している。

将来予測される人口減少や市の財政状況等を踏まえ、今後、施設の老朽化が進行し、多くの施設を現状のまま維持していくことは困難な状況。

令和2年度～41年度の40年間で建替えや大規模改修に係る費用の試算値は約4,500億円※（1年当たり約112億円）

※ 総務省提供の「公共施設等更新費用積算ソフト」を用いて試算したもの



将来にわたる持続可能な行財政運営の確立と次の世代に対し過度の負担を負わせることがないように、施設の実態を踏まえ施設の適正配置が必要。

2 日帰り・宿泊温浴施設の現状

- ・ 全ての温浴施設において利用者数が減少している中、コロナ禍により更に減少。
- ・ 全ての温浴施設が建設後20年以上経過しており、老朽化により今後、施設の改修、修繕費等の増加が見込まれる。
- ・ 温浴施設は他の施設と比較し公費負担額が大きく、利用者一人当たりの公費負担額は増加傾向にある。
- ・ 設置当時より民間の温浴施設も増え、公の関与の必要性が低下している。

【参考】コロナ禍前後における利用者数等のデータ比較

施設名：牧湯の里深山荘

項目	年度	H30	R3（見込み）	
			対H30増減	対H30比
利用者数（人）		11,207	4,848	△6,359 43.3%
利用料収入等（千円）		24,020	8,857	△15,163 36.9%
公費投入額（千円）		22,323	21,103	△1,220 94.5%
利用者1人当たりの公費負担額（円）		1,992	4,353	2,361 218.5%

3 今後の方向性

○ 民間需要調査の実施

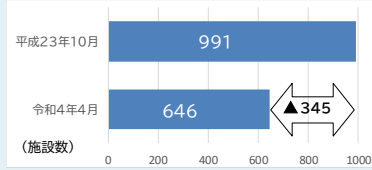
- ・ 令和4年度は、各施設について、民間需要調査を実施することとしている。その内容は、民間活力を活用し、利用促進を図るとともに、地域外の人々が訪れ、地域に利益を生み出すような施設への転換に向けたアイデアを募るもの。
- ・ 現在の機能を生かした利活用の調査を前提としつつ、あわせて他用途への転用による利活用も含めた幅広い可能性についても調査する。

- 調査結果を踏まえ、施設の今後の利活用の方向性について地域等と協議を重ね、現指定期間が終了する令和6年度末までに施設の方向性を決定する。

第4次公の施設の適正配置計画における「引き続き協議」とした日帰り・宿泊温浴施設について

1 適正配置の取組状況

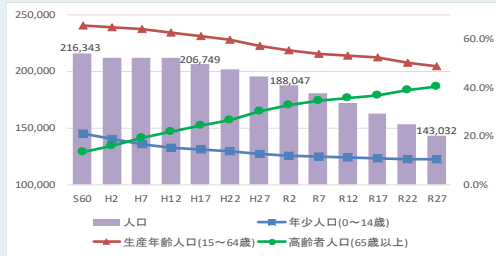
平成17年1月の市町村合併後、利用者数の減少や老朽化が著しい体育施設、利用実態を踏まえた公民館分館の廃止など適正配置を進めてきた。その結果、平成23年10月時点で991施設あった公の施設は、令和4年4月1日現在で646施設となっている。



2 公の施設を取り巻く現状と課題

(1) 人口減少

平成17年1月の合併当時約21万人であった人口は、令和4年4月1日時点で約18.6万人と減少が続いており、令和27年には、約14万人まで減少する見込み。また、生産年齢人口の減少により、今後、税収の減少が懸念される。



(2) 公の施設の老朽化等

築30年以上を経過した施設の面積は、令和6年に7割を超える見込みであり、今後、老朽化に伴う改修や更新に係る投資的経費の増加が見込まれる。合併前の各市町村で進めた施設整備により、多くの類似施設を保有している。(温浴施設、体育館など)

(3) コロナ禍による収支悪化

コロナ禍の影響により、日帰り・宿泊温浴施設、水族博物館等において、利用料金収入等が著しく減少しており、減収分について公費を約6.8億円投入している。(令和2年3月～令和4年3月)

3 適正配置計画の概要

(1) 基本方針(取組の必要性)

将来にわたる持続可能な行財政運営の確立と、現役世代はもとより次の世代が過度の負担を負うことなく、安心して暮らすことができるまちづくりに向けて、適正配置の推進に取り組む。

(2) 適正配置推進の視点

- 施設の実態を踏まえた施設の量と質の最適化
 - 利用実態や老朽度、収支状況等に着目し、人口や財政規模にあった建物と機能の量と質を確保。
- 公共関与の適正化及び効果的・効率的な利活用に資する管理主体・手法の見直し
 - 民間と競合している施設など、公的関与の低い施設の見直し(民間譲渡・貸付けなど)
- 利用圏域の設定による配置バランスの適正化
 - 類似施設毎に、各施設や施設カテゴリーに応じた利用圏域を設定し、施設の集約や連携等により必要な機能を確保。

(3) 取組内容

施設毎の具体的な取組方向を提示する対象施設322施設

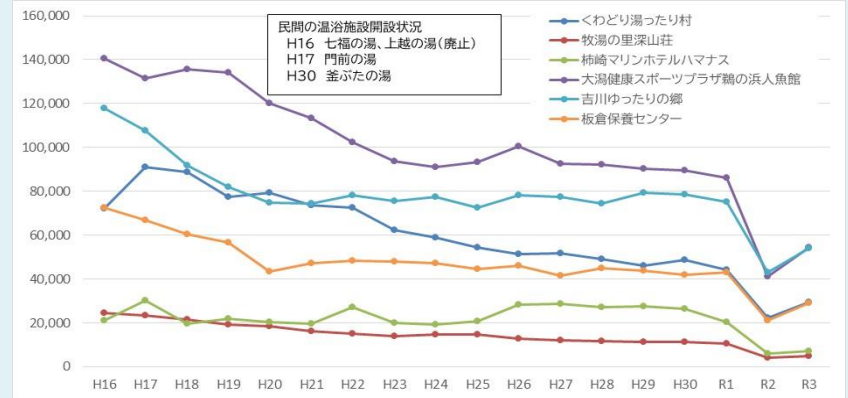
(小・中学校、保育園等344施設は、別の計画による)

- ① 現状維持 255施設
- ② 移転 1施設(地区公民館)
- ③ 新設 0施設
- ④ 廃止等 58施設
- ⑤ 引き続き協議 8施設(日帰り・宿泊温浴施設)

※ 三和ネイチャリングホテル米本陣は、民間事業者への譲渡について協議中

4 「引き続き協議」とした日帰り・宿泊温浴施設の現状

(1) 利用者数の推移



(2) 施設の経過年数及び耐用年数

- 全ての温浴施設が、建設後20年以上経過。今後、10年間で3施設が耐用年数を迎える。
- 施設の老朽化により今後、修繕費の増加が見込まれる。(別紙 施設データ参照)

(3) 利用者一人当たりの公費負担額

- コロナ禍による利用者の減少により、令和3年度の利用者1人当たりの公費負担額は、吉川ゆったりの郷を除く5施設が、1,000円を超えている。(令和4年4月1日現在)

No.	施設名	建物の情報			利用者一人当たりの公費負担額(円)				
		建築年度	経過年数	耐用年数	R3	R3(見込み)			
						経過年数	H30	対H30増減	対H30比
1	くわどり湯ったり村	H11	23	47	R28	847	1,372	525	162.0%
2	牧場の里深山荘	S61	36	47	R15	1,992	4,353	2,361	218.5%
3	柿崎マリンホテルハマナス	H7	27	47	R24	328	3,457	3,129	1054.0%
4	大湯健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館	H9	25	31	R10	479	1,054	575	220.0%
5	吉川ゆったりの郷	H9	24	31	R10	115	354	239	307.8%
6	板倉保養センター	H7	26	34	R11	199	1,105	906	555.3%

(4) 主な施設種別ごとの維持管理に係る公費負担額

- 温浴施設は、他の施設と比較すると公費負担が大きいです。

種別	年間公費負担額					
	H30			R2		
	施設数	金額	1施設当たり	施設数	金額	1施設当たり
日帰り・宿泊温浴施設	13	3億6,400万円	2,800万円	12	4億4,600万円	3,720万円
体育館	20	1億4,600万円	730万円	20	2億3,100万円	1,160万円
貸館・交流施設	18	1億1,900万円	660万円	19	1億5,100万円	800万円
公民館	48	9,000万円	190万円	45	1億300万円	230万円
集会所	22	680万円	31万円	20	580万円	29万円

<参考> コロナ禍に伴う減収補填等による公費負担額の増加

- 令和元年度～令和3年度の補填額等により約1.1億円の公費負担額の増加が見込まれる。

No.	施設名	減収分の補填等(千円)			計
		R1	R2	R3(見込み)	
1	くわどり湯ったり村	1,262	0	0	1,262
2	牧場の里深山荘	0	0	0	0
3	柿崎マリンホテルハマナス	2,545	7,691	21,363	31,599
4	大湯健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館	3,348	6,301	4,385	14,034
5	吉川ゆったりの郷	4,521	23,218	15,874	43,613
6	板倉保養センター	0	10,291	12,084	22,375
	計	11,676	47,501	53,706	112,883

1 施設名 牧湯の里深山荘

2 施設の設置目的

山間地に居住する住民の自主的活動を助長し、心身の健康増進、農林業の振興、若者の地域活動の促進及び高齢者の能力の活用を図り、もって生産空間及び生活空間を総合的に活用した地域間の交流を促進するため、多目的施設を設置する。

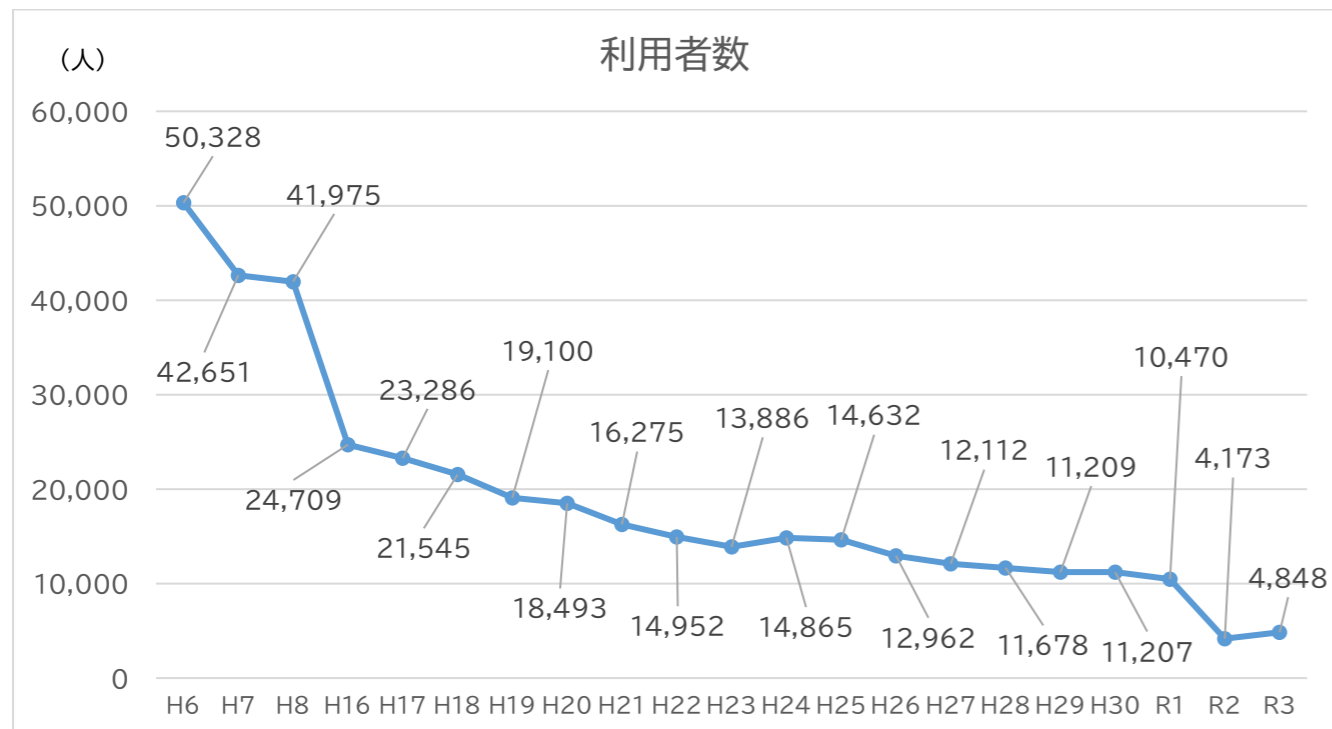
3 施設の概要

所在地	牧区宇津俣285番地
主な機能	浴室、和室、中広間、大広間、会議室、ゲートボール場(令和4年3月末現在)
構造	鉄筋コンクリート造 地上2階(本館) 鉄筋コンクリート造 地上2階(別館) 鉄筋コンクリート造 地上4階(新館)
設置	昭和61年4月
耐用年数経過年度	令和15年度
延床面積	2,928.79㎡
補助事業名	高齢者コミュニティセンター建設事業補助金、農山漁村活性化定住圏創造事業補助金 など
敷地	市有地
管理形態	指定管理 (指定管理者:株式会社太平洋)

4 利用者数の推移等(直近5年間)

【単位:人】

施設機能	H29	H30	R1	R2	R3(見込み)	
					対H30増減	対H30比
宿泊	1,827	1,928	1,816	460	760	△ 1,168 39.4%
日帰り温浴	9,382	9,279	8,654	3,713	4,088	△ 5,191 44.1%
計	11,209	11,207	10,470	4,173	4,848	△ 6,359 43.3%



5 施設の収支状況

(1) 指定管理者の収支状況(直近5年間)

【単位:千円】

区分	H29	H30	R1	R2	R3(見込み)	計	
収入(A)	利用料金収入	14,107	24,020	22,803	6,015	8,857	75,802
	指定管理料	15,593	15,593	15,882	15,882	16,229	79,179
	その他	33,135	23,217	22,717	13,220	11,233	103,522
	合計	62,835	62,830	61,402	35,117	36,319	258,503
支出(B)	64,391	64,724	58,477	37,017	40,819	265,428	
差引(A-B)	△ 1,556	△ 1,894	2,925	△ 1,900	△ 4,500	△ 6,925	

(2) 市の収支状況【公費負担額】(直近5年間)

【単位:千円】

区分	H29	H30	R1	R2	R3(見込み)	計	
収入(A)	604	0	0	0	0	604	
支出(B)	指定管理料	15,593	15,593	15,882	15,882	16,229	79,179
	指定管理料増額分	0	0	0	0	0	0
	修繕料	4,354	3,098	3,391	2,840	3,094	16,777
	その他委託料	4,245	247	927	747	649	6,815
	補填金	0	0	0	0	0	0
	その他	20,414	3,385	3,176	5,714	1,131	33,820
計	44,606	22,323	23,376	25,183	21,103	136,591	
公費負担額(B-A)	44,002	22,323	23,376	25,183	21,103	135,987	
利用者1人当たりの公費負担額(円)	3,926	1,992	2,233	6,035	4,353		

6 修繕実績及び今後の修繕見込み

(1) 修繕実績のうち主なもの

【単位:千円】

年度	修繕履歴	
	修繕内容	金額(税込)
H22年度	カーペット改修	3,623
H23年度	給湯管入替工事	4,610
H28年度	浄化槽最終排水設備修繕	950
	浄化槽排水管再接続修繕	715
H29年度	別館外壁修繕	907
	新館裏側側溝修繕	729
H30年度	別館給水設備改修工事	1,692
	風呂排水路修繕	1,341
R1年度	外壁雨樋等修繕	794
R2年度	別館喫煙室修繕	936
計		16,297

(2) 今後に修繕が見込まれる主なもの(概算)

【単位:千円】

項目	金額	項目	金額
○躯体(屋根・壁)	21,032	○空調設備	0
・本館・新館・別館屋根修繕	19,734	○その他	32,706
・玄関屋根コーティング	1,298	・浴室防水工事	19,360
○受変電設備	0	・ボイラー入替	8,000
○給水設備修繕	11,283	・本館床カーペット更新	2,070
・ピロティ配管改修	11,283	・新館床カーペット更新	2,646
		・別館床カーペット更新	630
計			65,021